



まちづくり だより No.16

「松風台の住みよさ」これからを考える

松風台自治会 会長 茂木信男

猛暑の中での夏まつり。みなさんの参加で盛大に終わることができてほっとしています。ご協力ありがとうございました。

自治会では、今年も「緑豊かで住みよいまちづくり」をテーマに取り組んでいます。自分たちでできることは自助で努力し、依頼すべきものは茅ヶ崎市に要望しています。

“外周の歩道が歩きにくい”というご意見があり、2年前に東公園、西公園前の玉ツゲを伐採して出入りを良くしました。今後、さらにすべての玉ツゲを整備して道路を平らにし、歩きやすく、車いすやベビーカーも通りやすくできるようにしたいと考えています。

三つの公園は子供が安心して遊べる場、皆さんの憩いの場になるよう「まちづくり運営委員会」がプロジェクトチームを組み、雑草取り・小枝拾いなど活動しています。

「住みよさ」を考えるとき、それは自分の住まいのことだけでなく周りの環境、近隣とおつきあひも重要な要素です。その「住みよさ」をもう少し良くするには自分たちの手で少しでも動いてみる必要があるでしょうか？ 自分ことはやるけど、他のことは他人まかせという風潮の中、暮らし続けたい街の「住みよさ」をみんなで考え、みんなで動くというのが松風台の良さだと思います。

例えば、最近、空き家による雑草の繁茂、住宅の劣化などによるトラブルも起きていますが近隣への配慮など心遣いも必要でしょう。住む人の高齢化や時代の動き、環境が変化してくるなか「住みよいまちづくり」をみなさんと考えていきたいと思っています。



松風台住民協定をもっとご理解いただくために

まちづくりだよりでは住民協定をご理解いただくために、これまでいくつかの項目について説明させていただきました。

NO.14 (2018-9 発行)では敷地境界との距離について (敷地境界の幅は1.00m以上)

NO.15 (2019-3 発行)では屋根の高さについて (屋根の高さは8.00m以下)

今回の **NO.16** では新築、増改築の事案があると必ず行う 近隣説明会 についてです。近隣説明会は身近な内容であるためもっと知らせて欲しいとの要望もあり取り上げました。

家屋の老朽化や高齢化、子育て世代の転居などの世代交代で建替や新築が増えてきました。住民協定における近隣説明会は重要な役割を担っています。

近隣説明会は新築される方から建築計画の説明を受ける場です。

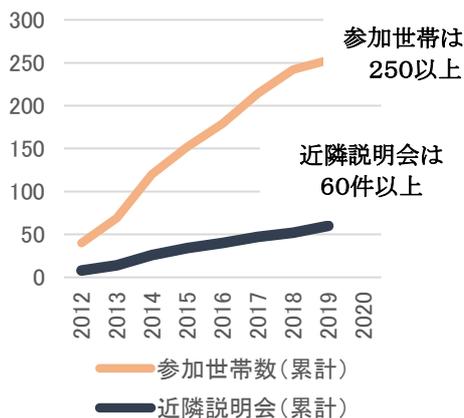
これまで出席いただいた方は松風台全世帯の4割以上となりました。

お隣、ご近所とのお付き合いが始まるきっかけになればと思っています。



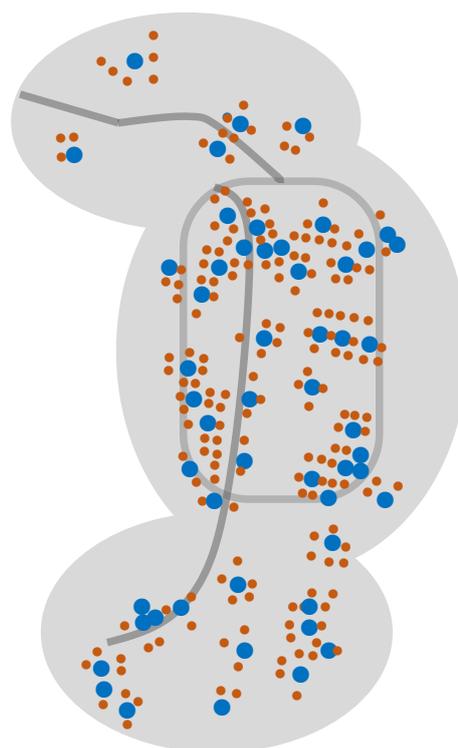
- ◇ 「近隣説明会」は 2012 年住民協定発効以来、60件の事案に250世帯以上(全世帯の4割超)が参加。向う三軒両隣と裏側三軒の5~8軒に声をかけて集まっています。

事案活動手順



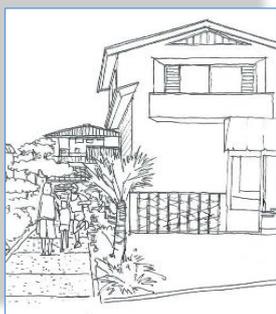
近隣説明会への参加実績

- 新築・増改築された住宅
- 説明会に出席された近隣の方々



松風台全体を模式的に表現しています

- ◇ 「近隣説明会」では工事内容の確認、工事中のトラブル防止対応などの説明を受けます。隣地との距離、屋根や軒の高さ、窓の位置、給湯器・空調室外機の位置なども論議されます。
- ◇ 新しい方はご家族と参加されることもあり「ご近所との顔合せができて一安心しました。よろしく願います」とのご挨拶、またご近所の皆さんからは「小さなお子さんが来てくれてうれしい、一日も早く移ってきてくださいね」など、和やかに進められます。



「ご近所が一堂に会することなどなかったですね」の声もきかれました。住民協定を運用するための近隣説明会が新しいコミュニティーの場になっていることはうれしいことです。

空き家が話題になっていますが松風台も増加の傾向にあります。

松風台の空き家調査

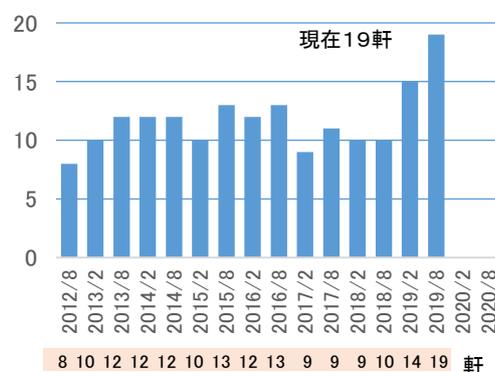
- ◇ 2回／年の調査を実施（新築情報の事前把握のため）
- ◇ 空き家の数は10軒前後で推移、直近は増加の傾向
- ◇ 空き家の放置で近所や地域に悪影響を及ぼしていることも

空き家問題を身近な課題として取り組むことが必要です

- ◆ 空き家は傷みの進行が早くなり悪影響を及ぼします。
 - ・建物 雨樋、瓦の劣化、外壁の破損、窓ガラスの割れ
 - ・郵便物の放置、ゴミの散乱
 - ・植栽や雑草の繁茂、隣地・道路へのはみ出し
 - ・放火等による火災 不審者の侵入 等
- ◆ 空き家を放置させることは近所や地域に不安や迷惑を生じるだけでなく街の美観にも影響します。
- ◆ 空き家問題は地域として、また自治会組織としての取り組みが必要です。

松風台の空き家 調査実績

空き家 軒数の推移



自治会の空き家問題への対応にまちづくり運営委員会は協力してまいります。空き家放置の迷惑を近隣に及ぼさないためには所有者(管理者)による定期的な空き家管理がとても大切です。所有者(管理者)の連絡先確認がポイントになります。

(尚、空き家対策特別措置法の該当はありません)



まちなみプロジェクトの活動

松風台自治会は国土交通省まちなみコンクールで「住まいのまちなみ賞」を受賞し、その助成金で発足した「まちなみプロジェクト」の活動は3年目(最終年)になりました。「ここはふるさと松風台」の「まちなみプロジェクト」は「公園の整備」、「イベントに協力」、「日々の暮らし(安全安心)への支援」など身近なテーマに取り組んでいます。

まちなみプロジェクトの活動スナップ

◆公園を整備

公園設備の充足と
環境維持の活動

【7月】公園近隣有志
19名参加、子供も6名参加

用具の整備と
用具の使い方の習得



◆イベントに協力

子供行事に合わせた活動

【8月】ふるさとワッショイ
おみこし巡行

大人と子供がみこしを一緒に担ぎ
盛り上がりど安全を両立



【7月】こどもクラブ
流しソーメン

自主作製し提供



◆日々の暮らし(安全安心)への支援

自治会や諸団体への支援、協力活動

まちなみプロジェクトの今後

助成金は本年で終了しますが、「まちなみプロジェクト」はこれからもこのような活動が継続できるよう検討して参ります。

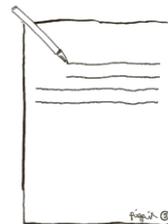
～編集後記～

孫が夏休みに滞在中、南公園で大合唱する蝉に興味を持ち、蝉の捕まえ方、扱い方を教える羽目になりました。

親が教えていないのか、孫の家の近くに大きな木がたくさんある公園がないせいなのか、初めての蝉取りに興奮している姿が印象的で、気分はまるで、「ちびまるこちゃん」のさくら友藏です。

と同時に自分の子供のころを思い出して、色々な意味で日常的に自然の中で遊ぶことのできる環境のありがたさを再認識した夏でした。

濱口 豊



発行責任者

松風台まちづくり運営委員会 副委員長 行正龍昭